

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 22 年 4 月 22 日 (2010.4.22)

【公開番号】特開 2008-222908 (P2008-222908A)

【公開日】平成 20 年 9 月 25 日 (2008.9.25)

【年通号数】公開・登録公報 2008-038

【出願番号】特願 2007-64979 (P2007-64979)

【国際特許分類】

C 0 8 G 59/24 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 59/24

【手続補正書】

【提出日】平成 22 年 3 月 8 日 (2010.3.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

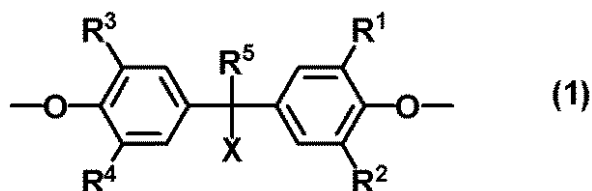
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フェノキシ構造を主骨格中に有するエポキシ樹脂であって、該フェノキシ構造として下記構造式 (1)

【化 3】



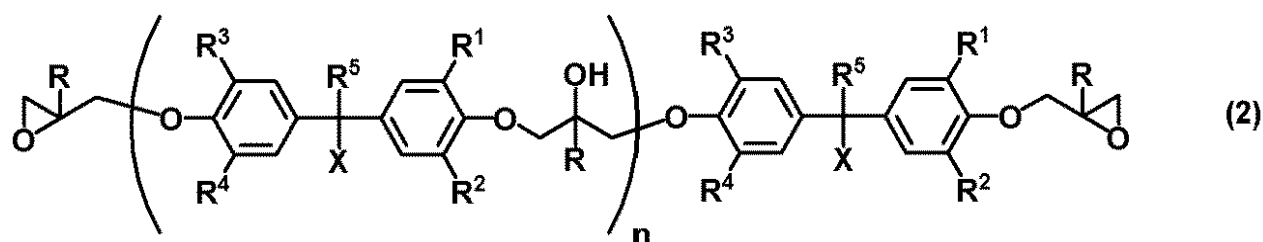
(式中、 $R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$ 、 $R^4$  は水素原子または炭素数 1 ~ 2 のアルキル基、 $R^5$  は水素原子又はメチル基、 $X$  は炭素数 4 ~ 12 のアルキル基を表す。)

で表される部分構造で結節した分子構造を有するエポキシ樹脂 (A)、及び脂肪族系溶剤 (C) を必須成分とすることを特徴とするエポキシ樹脂組成物。

【請求項 2】

前記エポキシ樹脂 (A) が、下記構造式 (2)

【化 1】



(式中、 $R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$ 、 $R^4$  は水素原子または炭素数 1 ~ 2 のアルキル基、 $R^5$  は水素原子又はメチル基、 $X$  は炭素数 4 ~ 12 のアルキル基、 $R$  はそれぞれ独立に水素原子またはメチル基を表し、 $n$  は繰り返し単位の平均値で 0 ~ 20 である。)

で表される構造を有するものである請求項 1 記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項 3】

前記エポキシ樹脂（Ａ）のエポキシ当量が 200 ～ 3100 g / eq . の範囲である請求項 1 又は 2 記載のエポキシ樹脂組成物。

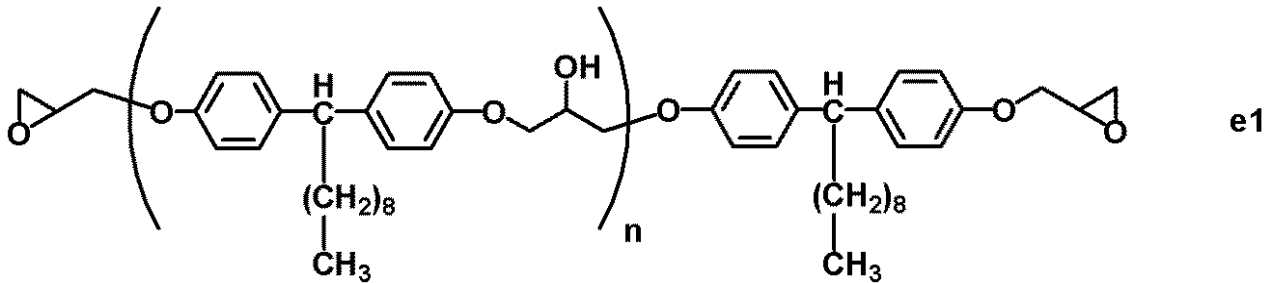
【請求項 4】

前記エポキシ樹脂（Ａ）及び脂肪族系溶剤（Ｃ）に加え、更に硬化剤（Ｂ）を含む請求項 1 ～ 3 の何れか 1 つに記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項 5】

下記構造式（e1）

【化 1】



（式中、n は繰り返し単位の平均値で 0 ～ 20 である。）

で表される構造を有するエポキシ樹脂（Ａ）、及び硬化剤（Ｂ）を必須成分とすることを特徴とするエポキシ樹脂組成物。

【請求項 6】

前記 n が 0 . 1 ～ 2 . 3 である請求項 5 記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項 7】

前記エポキシ樹脂（Ａ）のエポキシ当量が 200 ～ 3100 g / eq . の範囲である請求項 5 又は 6 記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項 8】

前記エポキシ樹脂（Ａ）及び硬化剤（Ｂ）に加え、更に脂肪族系溶剤（Ｃ）を含む請求項 5 ～ 7 の何れか 1 つに記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項 9】

前記請求項 1 ～ 8 の何れか 1 つに記載のエポキシ樹脂組成物を硬化させてなる硬化物。

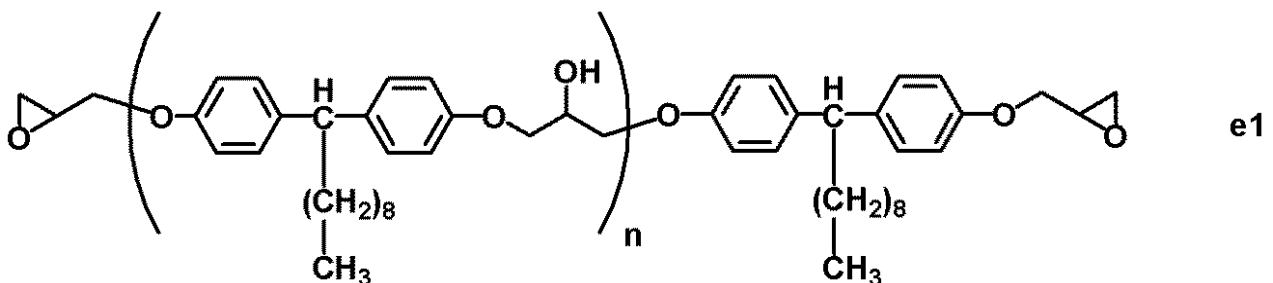
【請求項 10】

前記請求項 1 ～ 8 の何れか 1 つに記載のエポキシ樹脂組成物からなる塗料用組成物。

【請求項 11】

下記構造式（e1）

【化 1】



（式中、n は繰り返し単位の平均値で 0 ～ 20 である。）

で表される構造を有することを特徴とする新規エポキシ樹脂。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

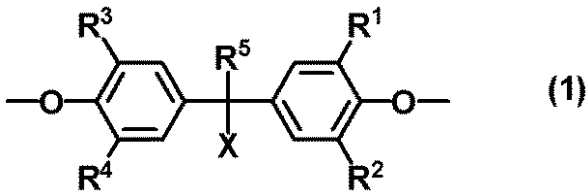
【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

【化 1】



(式中、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、R<sup>3</sup>、R<sup>4</sup>は水素原子または炭素数1～2のアルキル基、R<sup>5</sup>は水素原子又はメチル基、Xは炭素数4～12のアルキル基を表す。)

で表される部分構造で結節した分子構造を有するエポキシ樹脂(A)、及び脂肪族系溶剤(C)を必須成分とすることを特徴とするエポキシ樹脂組成物に関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明は、更に、下記構造式(e1)

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

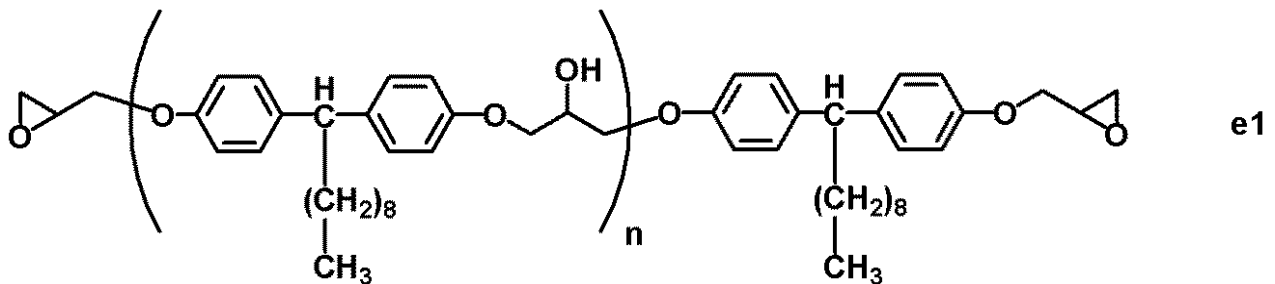
【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

【化 2】



(式中、nは繰り返し単位の平均値で0～20である。)

で表される構造を有するエポキシ樹脂(A)、及び硬化剤(B)を必須成分とすることを特徴とするエポキシ樹脂組成物に関する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明は、更に、下記構造式(e1)

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

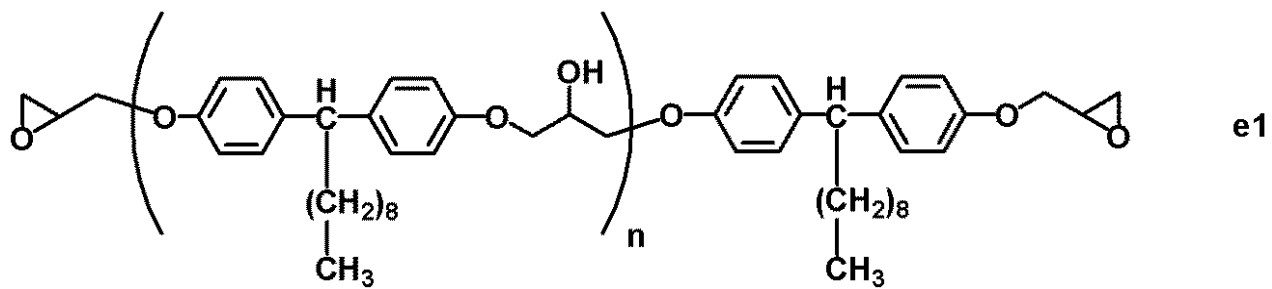
【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

【化 1】



(式中、nは繰り返し単位の平均値で0～20である。)  
で表される構造を有することを特徴とする新規エポキシ樹脂に関する